

工場全体を俯瞰しながら現場目線での解決すべき課題を抽出。ツール導入だけでなく、業務標準化、現場推進者の参画などを盛り込み、3ステップのデジタル化推進計画を作成

ヒラタ工業株式会社				http://kkhirata.co.jp/	
本社所在地	出雲市	資本金	4000万円	事業概要	鋳鉄鋳物製品の製造、販売、塗装および機械加工
代表者名	三好洋平	従業員数	83名		
設立年	1964年	業種	製造業	地域未来牽引企業	

背景

- 当社は鋳物製造会社として、顧客の要望に柔軟に 대응することをモットーに、多種多様な製品を小ロットで製造しているが、生産指示や作業実績情報が紙ベースとなっており、正確かつスムーズな情報伝達が課題となっていた
- これまでも、製品毎の品質チェックポイントなどを写真入りで検索できるデータベースツールを導入するなど、部分的なデジタル化には取り組んできたが、活用シーンは品質管理など限定的であった
- また紙ベースで作成される生産実績情報は、翌日にならないとデータ化されず、タイムリーに生産実績を把握することができないため、煩雑な工程間の情報のやりとりが必要であった

計画の骨子

工場全体を俯瞰してデジタル化のニーズを抽出

- ▶ 工場全体としてデジタル化のニーズはぼんやりと持っているが、どのように取り組めば良いのかを模索している状況であったため、プロセスごとの現状とあるべき姿の議論を重ねながら、デジタル化で解決すべき課題の選定と見極めを実施

デジタル化の優先順位を元に取り組み計画を作成

- ▶ 最終的に3点に絞り込んだアイテムに対して優先順位を付与し、「造形工程での作業実績リアルタイム取得」を1stステップとした段階的なデジタル化を目指す
- ▶ ツール導入だけでなく、業務の標準化、現場推進者の参画なども織り込んだ実施計画を策定